



日本骨髄バンクの現状（平成 23 年 10 月末現在）

	9 月	10 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,837	4,707	395,743	519,073
患者登録者数	205	224	2,816	34,160
移植例数	118	108	-	13,505

■20 歳未満のドナー登録者数

10 月 331 人
合計 16,034 人（17 年 3 月～）

■51 歳以上のドナー登録者数

10 月新規 198 人
延長 206 人
合計 24,799 人

■10 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,717 人、献血併行型集団登録会／2,617 人、集団登録会／269 人、その他／104 人
注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 骨髄液等の運搬業者への委託開始についてのご案内

本年3月のマンスリーJMDPでご案内しておりました、運搬業者（日本通運株式会社）による骨髄液等（末梢血幹細胞、ドナーリンパ球含む）の運搬業務委託について、11月21日から受付開始いたします。運搬業者への委託は移植施設のオプションです。

これにより、移植施設の実施が広がりますが、運搬業者に委託される場合は、移植施設ご自身の運搬業者への手続きが必要です。（その際、採取施設の担当者や回収時間等の情報が必要となりますので、事前に採取施設と調整ください。）

運搬業者への手続き等、詳細については、同封の「骨髄液等輸送サービス 手順書」（日本通運作成）にてご確認ください。（手順書は各認定施設の採取責任医師および移植連絡責任医師の方にのみ同封いたします。）運用開始にあたり、8月から10月にかけて、全国の運搬業者の担当者を対象として骨髄液等の運搬の意義や重要性、運搬時の注意事項等を習得してもらうべく研修会を実施しました。（骨髄液等の運搬にあたっては、この研修会を受講した運搬業者の社員の方に限定します。）

2 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は 32 施設です。新規認定施設については、当財団ホームページ＞患者さんへ＞移植認定病院およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

・採取施設

青森県立中央病院

群馬大学医学部附属病院

・移植診療科

同左 血液内科

同左 血液内科/小児科

3 骨髄バンク推進月間のご報告

10 月の骨髄月間では今年も全国各地でドナー登録会やキャンペーンイベントが開催されました。この間のドナー登録者は 4,707 名で前月実績の 870 名増、昨年同月と比べても 210 名増という結果でした。ドナー登録していただいた皆さま、ご協力いただいた関係者の皆さまに、厚くお礼申し上げます。

今年は震災の影響により、直後の 4 月、5 月は新規登録者数の落ち込みが顕著でしたが、6 月以降盛り返し、現在は前年を上回るペースで推移しております。引き続き変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。



4 骨髄バンク事業の推進へ ～各県における取り組み～

・提供ドナーへの助成制度導入へ（島根県浜田市）

浜田市は2012年4月より、造血幹細胞提供ドナーとなった市民を対象に、休業補償となる助成制度の導入を決定しました。市町村による助成制度は新潟県加茂市に続き、全国で2番目です。また、今年多忙な公務の中で骨髄提供をされた島根県益田市の福原慎太郎市長は、骨髄バンクニュース第39号のインタビューで、益田市におけるドナー給付制度の導入についても「加茂市や浜田市を参考にしながら、次年度から取り組みを開始する考え」と言及されています。

・高知県読売会が折り込みチラシによる骨髄バンクPR（高知県）

推進月間に先立ち、9月20日（火）の読売新聞朝刊にドナー登録を呼びかけるチラシが折り込まれ、高知県内全域の購読者約10,000世帯に配られました。今回ご自身もドナー登録をされている読売センター高知長浜・中村浩様の発案により、県内25店舗の販売店からなる「高知県読売会（松岡誠二会長）」や（株）読売旅行 高知営業所 様の賛同を得て実施されました。なお高知県の10月の登録者数は62名。前月の20名、前年同月の32名から大幅増です。

・ドナー登録業務に従事する職員を対象とした研修会を開催（富山県）

昨年度の年間ドナー登録者数が58名と、全国最下位となった富山県が、登録者増加に向けて動き出しました。富山県赤十字血液センターさまのご協力もあり、9月にはおよそ一年ぶりの献血併行ドナー登録会を再開、10月までの2か月で27名の登録がありました。また11月2日には財団より講師を招き、保健所職員ほかドナー登録業務従事者23名を対象に研修会が開催されました。4月～10月までの登録者は66名と、すでに前年度を上回っております。

・緊急雇用事業による骨髄バンク支援（群馬県・徳島県）

緊急雇用創出基金委託事業による骨髄バンク支援事業が各県で続々と開始されています。徳島県では研修を終えた4名のスタッフが9月から登録受付業務に従事され、「ワースト脱出大作戦！」実行中の群馬県は4名の職員を採用しました。

5 骨髄移植推進財団 設立20周年「『友情』感謝の集い」 開催

11月11日（金）帝国ホテル（東京都千代田区）富士の間において、骨髄移植推進財団 設立20周年記念「『友情』感謝の集い」が開催されました。平成11年11月11日の初演から、450回以上の公演を重ねた舞台「友情」の歴代の出演者や関係者120名以上が一堂に会し、正岡徹理事長より、女優のかとうかずこさんや鳩山幸さんらに感謝状が贈られました。

6 骨髄バンク20周年記念キャンペーンイベント「SBPIF 2011」 開催

骨髄バンク20周年記念キャンペーンイベント「Snow Bank Pay It Forward 2011 スノーボードと骨髄バンクを未来へ伝える」が11月12日（土）、13日（日）東京都渋谷区の代々木公園イベント広場に開催されました。来場者は2日間で約20,000人。秋晴れの中多くの方がプロスノーボーダーの迫力のある滑りやステージを、そして都心の「初雪」を楽しんでいました。多くのボランティアによって3,500枚近い「gift of life」が配布され、13日（日）に実施された献血併行ドナー登録会では35名のドナー登録がありました。

「SBPIF2011」公式ホームページ <http://www.sbpif.net/index.html>



7 中外製薬 Presents ホセ・カレーラス テノールリサイタル『Sogno～夢』

11月29日(火)東京・サントリーホール(東京都港区)にて「中外製薬 Presents ホセ・カレーラス テノールリサイタル『Sogno～夢』」が開催されます。今回も中外製薬株式会社様より寄付金の贈呈が予定されており、会場内で骨髄バンクへの募金活動が行われます。

問い合わせ先：ビザビジョン 03-5421-8070 <http://visavision.co.jp/index.html>

8 「平成 23 年度地区普及広報委員研修会」の会場変更について

平成 23 年 12 月 17 日(土)「骨髄バンク 20 周年記念全国大会」の前に、10:30 より実施予定の「平成 23 年度地区普及広報委員研修会」の会場が変更となりました。

東商ホール 4 階会議室 → 同 地下会議室

9 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
臨時理事会・評議員会	公開・一部非公開	12月1日(木) 15:00～ 廣瀬第2ビル地下会議室
常任理事会	公開・一部非公開	12月8日(木) 17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

10 トランスファーバッグから骨髄液が漏出した事例について

この度、フェンオール社製ボーンマロウコレクションキットの骨髄採取用バッグからトランスファーバッグ(容量 2,000ml)へ骨髄液を濾過注入したところ、骨髄液が漏出した事例が発生いたしました。原因は不明ですが、再発防止の観点から情報提供をします。なお、漏出した原因については販売メーカー(株式会社パルメディカル)に調査依頼中です。詳細については、別添 10 月 20 日付安全情報をご確認ください。

11 フェンオール社製ボーンマロウコレクションキットの改良品販売開始について

フェンオール社製ボーンマロウコレクションキットの骨髄液バッグのコネクター針による破損事例が過去 7 例発生したことを受け、当財団は販売元であるパルメディカル社と協議を重ねてまいりましたが、このほど、同社より 11 月下旬～12 月上旬頃に改良品の国内販売が開始される予定である旨の連絡がありました。改良点は、別添 11 月 15 日付安全情報をご参照ください。

また、使用にあたっては「本製品へ輸血セットを接続する時の注意事項」、「【お願い】輸血セット選定にあたって」をご確認ください。なお、当財団医療委員会は、改良前の骨髄バッグの使用を禁止することはできないが、付属するトランスファーバッグの使用は推奨しないとの見解を示しています。(「骨髄液バッグに関する現状調査」のアンケートへのご協力いただいた採取責任医師・移植連絡責任医師の先生方にはお礼を申し上げます)

<参考>○過去の安全情報

①骨髄液バッグに輸血セットのコネクター針を接続する際に起きたバッグの破損について(続報)(2011/8/26)

②骨髄液バッグに輸血セットのコネクター針を接続する際に起きたバッグの破損について(2010/11/22)

③骨髄液バッグ等に関する事例のご報告(2007/3/19)

**12 ドナーのプライバシー保護に関するお願い（採取責任医師の方へ）**

術前健診時、入院中、DLI採血時などに、患者情報がドナーの目にふれてしまうことがあるとの報告がありました。

ドナーに知らせてよい患者情報は、性別および年代・居住地方のみであり、患者氏名や、相手が特定される可能性のある移植施設等は決して知らせないことになっています（骨髄採取マニュアルP. 60参照）。採取施設におかれましては、情報管理の徹底をお願いします。

13 「検体保存事業に関する運用について」の改訂（採取責任医師・コーディネーターの方へ）

「検体保存事業の運用について」（2006/4施行【改訂】）の内容に現状と合わない箇所があるため、改訂を行いました。コーディネーターの対応についても一部変更がありますのでご確認ください（採取施設における運用に変更点はありません）。

検体や意思確認書が到着していない場合、採取施設の先生やドナーの方に問い合わせが必要となる可能性があるため、運用の再確認をお願いします。

詳細は同封の「検体保存事業の運用について（2011/11改訂）」ならびに変更一覧をご覧ください。

14 コーディネーターの認定・委嘱更新手続きについて（コーディネーターの方へ）

2012年3月末で認定・委嘱期間が満了となることに伴い、更新の審査手続きを開始します。

コーディネーターの方には、小論文と自己申告書を提出していただく予定です（ともに12月26日（月）ドナー部必着）。今月下旬、今後のスケジュールや提出物などについての詳細なご案内をお送りしますのでよろしくをお願いします。

15 連絡事項**◆年末年始の検体保存事業の受付について（採取施設の医師の方へ）**

年末・・・12月22日（木）までに東海大必着

※北海道・九州地区は12/20（火）までに、それ以外の地区は12/21（水）までに発送をお願いします。

年始・・・1月10日（月）採血・発送分から受付可能

◆年末年始の確認検査・再検査の実施とSRL予約について（コーディネーターの方へ）

年内・・・確認検査は、12月26日（月）まで 再検査は、12月28日（水）まで

年始・・・確認検査、再検査ともに、1月5日（木）から

SRLの予約：1月5日～6日採血希望の場合は、12月22日（木）14：00まで

◆コーディネーターブラッシュアップ研修会の案内（コーディネーターの方へ）

第17回コーディネーターブラッシュアップ研修会の開催案内を同封します。発送の都合上、ご欠席の方にも同封させていただいていますのでご了承ください。

◆移植・採取における事務手続きに関する説明書の第2版送付について（採取責任医師・移植連絡責任医師の方へ）

2008年に医事課の方向けの「移植・採取における事務手続きに関する説明書」を発行し、関係者の皆様にお配りしておりましたが、この度、第2版を作成しました。

各認定施設の採取責任医師および移植連絡責任医師の方にのみ同封します。（医事課担当者の方には別途、お送りします）

当財団HP>医師の方へ>医事課の方にも掲載していますのでご利用ください。